

小麦雪腐病殺菌剤

日曹

モンカット®ベフラン® フロアブル

冬の安眠まもります。



無人ヘリコプター
散布でも
使用できます!



紅色雪腐病



雪腐褐色小粒菌核病



雪腐黒色小粒菌核病

小麦雪腐病殺菌剤

日曹

モンカットベフラン[®]フロアブル

毒性：医薬用外劇物 有効成分：イミノクタジン酢酸塩……10.0% フルトラニル……20.0%

特長

小麦の紅色雪腐病や雪腐小粒菌核病（黒色小粒菌核病・褐色小粒菌核病）、雪腐大粒菌核病を同時に防除できるため省力的です。

フロアブル化による微粒子化により雪腐病に安定した効果を発揮します。

フロアブル製剤のため、薬剤調製が容易です。

製剤の安定性に優れ、保管中の分離は起こりません。

無人ヘリコプター防除でも使用できます。

適用病害虫および使用方法

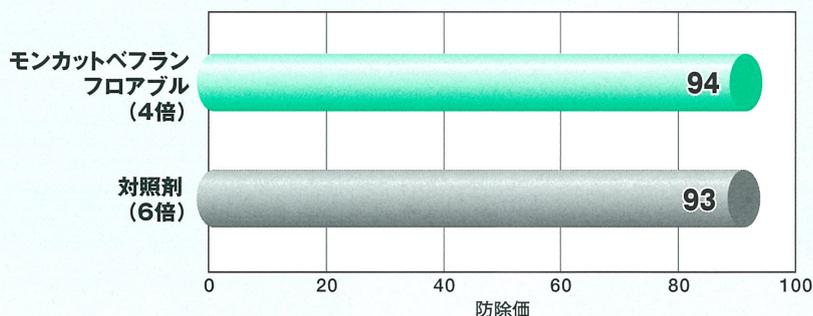
[2013年10月現在の登録内容]

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミノクタジンを含む農薬の総使用回数	フルトラニルを含む農薬の総使用回数
小麦	雪腐大粒菌核病 紅色雪腐病 雪腐小粒菌核病	500倍	60~150ℓ/10a	根雪前	2回以内	散布	4回以内 種子への処理は 1回以内、 散布及び 無人ヘリ散布は 合計3回以内、 出穂期以降は1回以内	2回以内
	紅色雪腐病 雪腐小粒菌核病	125倍	25ℓ/10a					
		4倍	800ml/10a			無人ヘリコプター による散布		

試験成績（小麦/紅色雪腐病）

■ 無人ヘリコプター散布

場 所：(社)北海道植物防疫協会(2006年)
発生状況：甚発生
品 種：ホクシン
播 種：2006年9月26日
処 理：2006年11月20日
根雪開始：2006年11月25日
融雪開始：2007年3月24日
調 査：2007年4月3日



⚠ 使用上の注意事項

- 希釈倍数125倍で使用する場合は、少量散布に適したノズルを装着した乗用型の速度運動式地上液剤散布装置を用いて均一に散布してください。
- 本剤を無人ヘリコプターによる散布に使用する場合は次の注意を守ってください。
 - ① 散布液調製後はできるだけ速やかに散布してください。
 - ② 散布は各散布機種種の散布基準に従って実施してください。
 - ③ 微量散布装置以外の散布器具は使用しないでください。
 - ④ 散布機種種に適合した散布装置を使用してください。
 - ⑤ 散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
 - ⑥ 散布液の飛散によって自動車の塗装やカラートタンの塗装等へ影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
 - ⑦ 機体の散布装置は十分洗浄し薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。
- イミノクタジンを含む農薬ですので、他のイミノクタジンを含む農薬の使用回数と合わせ、作物ごとの総使用回数の範囲内で使用してください。
- 医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の担当を受けさせてください。使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の担当を受けてください。
- 眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の担当を受けてください。
- 皮膚に対して強い刺激性があるので、皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布液調製時及び散布の際は保護眼鏡、防護マスク、不浸透性手袋、ゴム長靴、不浸透性防除衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 散布機具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。

- 使用前にラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 使用後の空容器等は圃場などに放置せず、適切に処理してください。



日本曹達株式会社

本 社 〒100-8165 東京都千代田区大手町2丁目2番1号
☎(03)3245-6178 FAX(03)3245-6084
ホームページアドレス <http://www.nippon-soda.co.jp/nougyo/>
札幌営業所 〒060-0001 札幌市中央区北一条西4-1-2
☎(011)241-5581 FAX(011)241-5583